

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和8年1月23日

公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

学校名	築上町立椎田中学校
報告者	教頭 内田 慈子 (連絡先 TEL : 0930-56-0129)
寄贈品	カラー複合プリンター (エプソンインク含む) 3台
活用状況 (使用者、使用内容、使用頻度等)	使用者 : 全校生徒 185 名 使用内容 : 各学年の少人数教室に1台ずつ、プリンターを設置しており、授業において、生徒たちが必要に応じて自由に使用できるようにしている。 ① 総合的な学習の時間「未来の築上町プロジェクト」において、全学年の生徒が使用している。 一人一台端末で作成した町の活性化のための課題解決策のプレゼンテーション資料を必要に応じて印刷し、グループ内での打ち合わせに使用したり、企業への提案会の際に掲示したりしている。また、予算確保が必要なグループは、自分たちで話し合っって作成した予算申請書を印刷して点検し、校内の予算委員会に提出したり、校外活動申請書作成、印刷をしたり、等の各グループや個人の課題解決のために使用している。 ② 各教科の学習において、学び方を選択して取り組む授業の際に、生徒たち自身が必要に応じて、制作したものや練習問題等を印刷して使用している。 使用頻度 : 1 学年 3500 回、2 学年 4200 回、3 学年 4000 回 (インク量により算出)
申請当初の 目的達成状況	各教科の授業だけでなく、総合的な学習の時間における活用が積極的に行われているため、目的はおおむね達成している。
教育的効果について 所見等	生徒自身が授業において必要に応じてプリンターを使用できることで、目的や特性に応じて表現活動等を行うことができた。

活用状況の写真等（当日の様子など）

写真① 社会科の歴史の授業終了後、少人数教室においてプリンターを使用している1年生の様子。

自らが生成AIを使って作成した奈良時代の特徴を表現しているキャラクターを印刷している。



写真①



写真②

総合的な学習の時間における企業への提案会において、紙面発表を希望する生徒たちは、寄贈されたプリンターを用いて、一人一台端末上で作成したスライドを印刷して提案を行った。

総合的な学習でも、生徒たちが必要に応じて自由に使えるように、各フロアにプリンターを設置しているため、各自が必要に応じて、適切なタイミングでプリンターを使用して表現活動を行うことができた。

今後の活用見通し・課題

来年度も引き続き、全学年における各教科の授業や総合的な学習の時間で、目的や必要に応じて、生徒の表現活動や基礎・基本の定着のために活用していきたい。